

## 素敵な写真の撮り方

### ★自然の光をとらえましょう

やや右側か、左側に光が差しこむように、作品の真後に光があると、これはまぶしすぎて、作品が真っ暗になりますから注意しましょう。撮影は光との関係がとても重要です。

### ★時間をきめましょう

いつもの場所も時間によっては自然の光が変わります。同じ晴天でも午前はシルバーの光、午後はずこし赤がはいってきます、ですから、不思議なことに同じブルーの花も写真の映り方が変わります。もちろん編集で色味はかえられますが、最初から綺麗にとれていれば、楽ですよ。無駄な時間がはぶけますし、本来の色を再現できます。

### ★プロに一度はならってみましょう

お持ちのカメラの機種はどこでしょうか？

カメラメーカーでたいていは、レッスンを無料で開催していたり、あるいは、ショールームに訪れると、いろいろ試し撮りをさせてくれたりもします。まずは、わかってもらわなくていい、行動すること！「一通り教えてください」と相談してみましょう。そうするとわからないことがわかります。これがとっても大事なのです。

言われた専門用語や、そんなボタンがあったのか、ピントの機能や、自分でできることとできないことがわかります。カメラはいろいろな機能がありますが、「？」に気づくだけでも進歩です。そうすると次に一歩踏み込んだ質問ができます。

とはいえ、現代の一眼レフ、それほど難しくはありません、少し価格はしますが、ぜひ一台は持ってみてください。お客様にメーカーもしっかり対応してくれるので、ぜひショールームに足をはこんでみてくださいね！

### ★とにかく何回も撮影しましょう

実は、作品のここがいまひとつだという点は、カメラで撮影してみてわかることが非常に多いです、ファインダーは客観視させてくれる力があります。写してはプレビューで見る、この繰り返しをしてみましょう。

不思議ですが、葉っぱ一枚たりない、同じ方向をむいてる、あそこが低いなど、目では気付かなかったことが、写真のプレビューでわかるんです。立体から、フラットな画像でみることで、自分の視覚も、ちがう領域で見ているかのようです。

実際、私が SNS で皆さんにご覧いただくのは圧倒的に写真になるので、画像で見てダメな

部分を気づかせてもらったら、そこは重要視、速攻なおしてから、また撮影します。アレンジして完成したものであっても、不具合な点がわかれば、カットしなおして、その場で仮のせしたまま撮影することも多々あります。

#### ★撮影にかかる時間

一つの作品にもいろいろなアングルで撮影します。ボードを窓際付近にたてかけて、その壁に掛けるバージョン、あるいはテーブルをだしてきて、置くバージョン。これであつという間に2時間はすぐ。

私は一つの作品に300~400枚くらいとります。ブーケなどは700枚になることも。プロのように、数枚ではすてきに撮れない、それだけまだまだアマチュアなのです。

さらに、パソコンに取り込んで、からが時間がかかります、なにしろ膨大な数の中で絞り込んでいくので。50枚くらいするのが、もう大変。あれこれ見比べて、さらに絞り込んで、HPやインスタにのせているので、選ばれたものは、自分なりに、これが最高！という一枚になります。

#### ★写真を選ぶポイント

陰影がしっかりついているか？でジャッジしましょう。明るく見えている花の色がある一方で、ややくらくて、色もわかりづらい部分があつていいです。陰影があると、立体感がつたわります。全部が明るく見えている写真は 作品の雰囲気もっぺりして見えるので注意しましょう。

撮影も選定も、すこしでも作品の良いところがつたわるように妥協はしません。これはもう、作品への愛情がなければ、できないことですね。ですので、一旦納得のいく写真がとれたなら、ものすご〜く安堵感いっぱい、つつまれます。

#### ★インスタの世界の未来

インスタグラムはもともと写真の世界からはじまりました。それなのに、最近、作家さんや、コンサルだとか、占いとか、音楽だとか、本来、写真の不要な人たちまで参入していますよね。そしてリールの動画があるように、いまや、画像から、動画にシフトしつつあります。動画の撮影の情報もみなさんとシェアしていきたいと思います。

お読みいただきありがとうございます。

いつも応援してくださり、めっちゃ元気です、嬉しいです！(^^)／

アトリエレモンリーフ 影山